

CASBEE 広島 2016年版
ライオンズ東翠町

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境						0.40	-	-	3.8
1 音環境					3.0	0.15	3.4	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル		専用室内予想騒音レベル38.8dBA			3.0	0.50	4.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	2.9	0.50	
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		現場打ちコンクリート壁220mm以上			3.0	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境					3.0	0.35	5.0	1.00	4.6
2.1 室温制御					3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温					3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		住宅性能評価断熱等性能等級:5確保			3.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御					3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					2.7	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用					4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率		昼光率:共用部2.78%確保、専用部3.8%以上確保			5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口					3.0	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					1.0	0.30	3.0	0.50	
1 昼光制御					1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		下地を含め仕上げ材にF☆☆☆☆を全面採用			4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					3.0	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御					3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.4
1 機能性					3.3	0.40	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性					3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		NTTフレッツ光対応可			3.0	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					4.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観					3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-	
3 内装計画		コンセプトを基本に内装パースを作成し仕上げ材の計画を行っている。			4.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					4.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能評価「劣化対策等級3」確保			5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁面に耐用年数の高いタイルを使用している。			5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		スパイラルダクトの使用、ダクト勾配を1/100程度確保する。			4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		期待耐用年数B以上を使用			5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					2.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.1	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1 階高のゆとり	階高2.960mm		3.0	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性	住宅性能表示基準「4-2維持管理対策等級(共用配管)」等級2		4.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能評価「5-1断熱等性能等級5」確保		5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10		-	2.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.78		5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-		-	-
4.1 モニタリング			3.0	-		-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-		-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00		-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水	節湯水栓を使用		4.0	0.40		-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60		-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20		-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		1.0	0.20		-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材及び躯体+クロス仕上とし分別を比較的容易にして		5.0	0.20		-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20		-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用	接着剤、シーリング等シックハウス対策品を使用		5.0	0.30		-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70		-	-
1 消火剤			-	-		-	-
2 発泡剤(断熱材等)			2.0	0.50		-	-
3 冷媒			3.0	0.50		-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	オール電化住宅としている		5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止	燃焼器具使用していない		5.0	0.25		-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-
3 交通負荷抑制	駐車場の出入口の分散化により渋滞の緩和		4.0	0.25		-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	-
3 周辺環境への配慮			1.9	0.33		-	1.9
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			1.0	0.40		-	-
1 騒音			1.0	1.00		-	-
2 振動			-	-		-	-
3 悪臭			-	-		-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40		-	-
1 風害の抑制			1.0	0.70		-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-		-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドライン7項目、広告物照明8項目確保		5.0	0.70		-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	-